# 2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月12日

上場会社名　　プレス工業株式会社　　上場取引所　東
コード番号　　7246　　ＵＲＬ　https://www.presskogyo.co.jp
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）清水　勇生
問合せ先責任者　（役職名）IR部長　　（氏名）栗田　靖之　　ＴＥＬ　050-3205-3549
半期報告書提出予定日　　2026年11月12日　　配当支払開始予定日　2026年12月２日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無　　：有（アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

## １．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

### （１）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する中間純利益 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2027年３月期中間期 | 100,095 | 8.5 | 7,183 | 29.7 | 7,177 | 25.9 | 4,551 | 45.6 |
| 2026年３月期中間期 | 92,264 | △3.2 | 5,537 | 8.7 | 5,702 | 4.4 | 3,124 | △8.2 |

（注）包括利益　2027年３月期中間期　4,992百万円（234.7%）　2026年３月期中間期　1,491百万円（△76.5%）

| | １株当たり中間純利益 | 潜在株式調整後１株当たり中間純利益 |
|---|---|---|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2027年３月期中間期 | 46.64 | ― |
| 2026年３月期中間期 | 31.46 | ― |

### （２）連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | １株当たり純資産 |
|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2027年３月期中間期 | 200,090 | 135,874 | 61.3 | 1,257.33 |
| 2026年３月期 | 207,185 | 134,651 | 58.0 | 1,232.11 |

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　122,739百万円　2026年３月期　120,195百万円

## ２．配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 第１四半期末 | 第２四半期末 | 第３四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2026年３月期 | ― | 16.00 | ― | 21.00 | 37.00 |
| 2027年３月期 | ― | 25.00 | | | |
| 2027年３月期（予想） | | | ― | 25.00 | 50.00 |

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

## ３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | １株当たり当期純利益 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 197,000 | △2.6 | 13,000 | △3.8 | 13,200 | △5.9 | 8,000 | △5.6 | 81.97 |

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更：無

新規　ー社　（社名）　　、除外　ー社　（社名）

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無

② ①以外の会計方針の変更　：無

③ 会計上の見積りの変更　：無

④ 修正再表示　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2027年３月期中間期 | 98,066,400株 | 2026年３月期 | 98,066,400株 |
| ② 期末自己株式数 | 2027年３月期中間期 | 446,841株 | 2026年３月期 | 513,456株 |
| ③ 期中平均株式数（中間期） | 2027年３月期中間期 | 97,581,479株 | 2026年３月期中間期 | 99,327,617株 |

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料２ページ「１．経営成績等の概況（１）当中間期の経営成績の概況」をご覧ください。

（決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法）

決算補足説明資料はTDnetで同日開示するとともに、当社ウェブサイト（https://www.presskogyo.co.jp/ir/）に掲載いたします。また、2026年11月16日（月）にアナリスト・機関投資家向けの決算説明会を開催する予定です。説明会資料は開催前に当社ウェブサイトへ掲載し、説明会終了後、スクリプト付資料、質疑応答要旨及び動画を当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間期の財政状態の概況 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 2
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 3
（１）中間連結貸借対照表 …… 3
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 5
中間連結損益計算書 …… 5
中間連結包括利益計算書 …… 6
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 7
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（セグメント情報等の注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（追加情報の注記） …… 9

## １．経営成績等の概況

### （１）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるトラックの事業環境は、国内につきましては、普通トラック及び小型トラックともに堅調に推移しました。海外につきましては、欧州、インドネシアにおいて需要が増加しました。タイにおいては、中東情勢影響などにより輸出は前年同期比減少も、国内需要は前年同期比増加し、全体では前年同期と同等の水準となりました。建設機械の事業環境は、データセンターへの建設投資が米国を中心に旺盛であったこと、各国における公共事業が活発化したことなどにより、需要が増加しました。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は1,000億95百万円（前年同期比8.5%増）、営業利益は71億83百万円（前年同期比29.7%増）、経常利益は71億77百万円（前年同期比25.9%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は45億51百万円（前年同期比45.6%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

（自動車関連事業）

当社グループにおいては、国内は普通トラック用部品・小型トラック用部品について、国内・輸出向け共に需要が増加し、売上高は前年同期比増加となりました。

海外につきましては、タイにおいて、一部得意先の再編影響や販売不振などにより、ピックアップトラック用部品の売上高は、前年同期比減少となりました。米国においては、得意先販売好調により、売上高は前年同期比増加となりました。インドネシアにおいては、経済回復による需要増やアセアンなど輸出向け増加などにより、売上高は前年同期比増加となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は809億49百万円（前年同期比7.6%増）となり、セグメント利益は84億71百万円（前年同期比22.8%増）となりました。

（建設機械関連事業）

当社グループにおいては、国内は油圧ショベル用キャビンについて、欧米、アセアンでの需要が増加し、売上高は前年同期比増加となりました。油圧ショベル以外のキャビンについては、欧米の需要増加により、売上高は前年同期比増加となりました。

中国では、国内需要増加により、売上高は前年同期比増加となりました。

なお、普莱斯冲压部件(蘇州)有限公司（PK MANUFACTURING（SUZHOU）CO., LTD.）については2025年12月26日付で解散し清算手続中であります。

以上の結果、当セグメントの売上高は195億31百万円（前年同期比13.8%増）となり、セグメント利益は５億73百万円（前年同期比45.1%増）となりました。

### （２）当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末における総資産は、2,000億90百万円となり、前連結会計年度末比70億95百万円の減少となりました。その主な要因は、受取手形及び売掛金の減少によるものであります。

負債は、642億15百万円となり、前連結会計年度末比83億18百万円の減少となりました。その主な要因は、支払手形及び買掛金並びに、電子記録債務の減少によるものであります。

純資産は、1,358億74百万円となり、前連結会計年度末比12億22百万円の増加となりました。その主な要因は、利益剰余金の増加によるものであります。

以上の結果、自己資本比率は61.3%となりました。

### （３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年３月期の連結業績予想につきましては、第２四半期累計実績が想定通りに着地したこと、通期業績予想においても足元の事業環境が堅調であり、想定通りに着地する見通しであることから、2026年８月５日付で公表いたしました予想を変更いたしません。

なお、今後の業績動向等を踏まえ、修正が必要と判断した場合には速やかに開示いたします。

## ２．中間連結財務諸表及び主な注記

### （１）中間連結貸借対照表

（単位：百万円）

| | 前連結会計年度<br>（2026年３月31日） | 当中間連結会計期間<br>（2026年９月30日） |
|---|---|---|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 22,213 | 20,757 |
| 受取手形及び売掛金 | 45,047 | 37,935 |
| 電子記録債権 | 2,311 | 2,075 |
| 商品及び製品 | 1,844 | 1,505 |
| 仕掛品 | 10,246 | 11,023 |
| 原材料及び貯蔵品 | 3,072 | 3,094 |
| 未収還付法人税等 | 14 | 60 |
| その他 | 5,536 | 5,651 |
| 貸倒引当金 | △7 | △0 |
| 流動資産合計 | 90,279 | 82,103 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 18,801 | 18,834 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 29,978 | 29,899 |
| 土地 | 32,870 | 32,864 |
| その他（純額） | 16,799 | 18,129 |
| 有形固定資産合計 | 98,450 | 99,727 |
| 無形固定資産 | | |
| その他 | 557 | 577 |
| 無形固定資産合計 | 557 | 577 |
| 投資その他の資産 | | |
| 繰延税金資産 | 1,535 | 1,434 |
| 退職給付に係る資産 | 7,199 | 7,254 |
| その他 | 9,198 | 9,028 |
| 貸倒引当金 | △35 | △35 |
| 投資その他の資産合計 | 17,898 | 17,681 |
| 固定資産合計 | 116,906 | 117,986 |
| 資産合計 | 207,185 | 200,090 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 26,856 | 23,779 |
| 電子記録債務 | 6,378 | 3,213 |
| 短期借入金 | 6,031 | 4,791 |
| 未払法人税等 | 1,243 | 1,252 |
| 賞与引当金 | 3,498 | 2,828 |
| 役員賞与引当金 | 182 | 67 |
| その他 | 11,115 | 11,036 |
| 流動負債合計 | 55,306 | 46,968 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 928 | 761 |
| 繰延税金負債 | 4,256 | 4,388 |
| 再評価に係る繰延税金負債 | 7,822 | 7,822 |
| 環境対策引当金 | 153 | 153 |
| 退職給付に係る負債 | 3,143 | 3,197 |
| 資産除去債務 | 398 | 398 |
| その他 | 524 | 525 |
| 固定負債合計 | 17,227 | 17,247 |
| 負債合計 | 72,534 | 64,215 |

（単位：百万円）

| | 前連結会計年度<br>（2026年３月31日） | 当中間連結会計期間<br>（2026年９月30日） |
|---|---|---|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 8,070 | 8,070 |
| 資本剰余金 | 2,074 | 2,078 |
| 利益剰余金 | 78,179 | 80,682 |
| 自己株式 | △366 | △319 |
| 株主資本合計 | 87,958 | 90,512 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 3,615 | 3,433 |
| 土地再評価差額金 | 17,034 | 17,034 |
| 為替換算調整勘定 | 8,939 | 9,241 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 2,647 | 2,517 |
| その他の包括利益累計額合計 | 32,237 | 32,227 |
| 非支配株主持分 | 14,455 | 13,134 |
| 純資産合計 | 134,651 | 135,874 |
| 負債純資産合計 | 207,185 | 200,090 |

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

（中間連結損益計算書）

（単位：百万円）

| | 前中間連結会計期間<br>（自　2025年４月１日<br>至　2025年９月30日） | 当中間連結会計期間<br>（自　2026年４月１日<br>至　2026年９月30日） |
|---|---|---|
| 売上高 | 92,264 | 100,095 |
| 売上原価 | 78,942 | 84,823 |
| 売上総利益 | 13,321 | 15,272 |
| 販売費及び一般管理費 | 7,784 | 8,088 |
| 営業利益 | 5,537 | 7,183 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 83 | 53 |
| 受取配当金 | 182 | 167 |
| 固定資産賃貸料 | 21 | 23 |
| 為替差益 | 28 | － |
| その他 | 48 | 50 |
| 営業外収益合計 | 365 | 295 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 178 | 127 |
| 為替差損 | － | 147 |
| その他 | 20 | 26 |
| 営業外費用合計 | 199 | 301 |
| 経常利益 | 5,702 | 7,177 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 17 | 17 |
| 投資有価証券売却益 | 36 | － |
| 特別利益合計 | 53 | 17 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | 0 | 0 |
| 固定資産除却損 | 306 | 51 |
| 補償修理費用 | 104 | 34 |
| 特別損失合計 | 410 | 86 |
| 税金等調整前中間純利益 | 5,345 | 7,108 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 1,360 | 1,578 |
| 法人税等調整額 | △56 | 362 |
| 法人税等合計 | 1,304 | 1,940 |
| 中間純利益 | 4,041 | 5,167 |
| 非支配株主に帰属する中間純利益 | 916 | 616 |
| 親会社株主に帰属する中間純利益 | 3,124 | 4,551 |

（中間連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

| | 前中間連結会計期間<br>（自　2025年４月１日<br>至　2025年９月30日） | 当中間連結会計期間<br>（自　2026年４月１日<br>至　2026年９月30日） |
|---|---|---|
| 中間純利益 | 4,041 | 5,167 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △273 | △181 |
| 為替換算調整勘定 | △2,175 | 136 |
| 退職給付に係る調整額 | △101 | △130 |
| その他の包括利益合計 | △2,550 | △175 |
| 中間包括利益 | 1,491 | 4,992 |
| （内訳） | | |
| 親会社株主に係る中間包括利益 | 1,326 | 4,540 |
| 非支配株主に係る中間包括利益 | 164 | 451 |

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

| | 前中間連結会計期間<br>（自　2025年４月１日<br>至　2025年９月30日） | 当中間連結会計期間<br>（自　2026年４月１日<br>至　2026年９月30日） |
|---|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前中間純利益 | 5,345 | 7,108 |
| 減価償却費 | 5,577 | 6,381 |
| 賞与引当金の増減額（△は減少） | △1,045 | △650 |
| 退職給付に係る負債の増減額（△は減少） | 62 | 84 |
| 退職給付に係る資産の増減額（△は増加） | △197 | △240 |
| 受取利息及び受取配当金 | △266 | △221 |
| 支払利息 | 178 | 127 |
| 投資有価証券売却損益（△は益） | △36 | － |
| 有形固定資産売却損益（△は益） | △17 | △17 |
| 有形固定資産除却損 | 306 | 51 |
| 補償修理費用 | 104 | 34 |
| 売上債権の増減額（△は増加） | △1,912 | 7,339 |
| 棚卸資産の増減額（△は増加） | △1,398 | △419 |
| 仕入債務の増減額（△は減少） | 3,830 | △6,143 |
| その他 | △139 | △202 |
| 小計 | 10,392 | 13,232 |
| 利息及び配当金の受取額 | 257 | 230 |
| 利息の支払額 | △185 | △128 |
| 法人税等の還付額 | 13 | － |
| 法人税等の支払額 | △1,201 | △1,692 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 9,276 | 11,642 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △9,104 | △7,553 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 18 | 17 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △41 | △42 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 44 | － |
| その他 | △111 | △99 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △9,194 | △7,677 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額（△は減少） | △1,001 | △971 |
| 長期借入れによる収入 | － | 10 |
| 長期借入金の返済による支出 | △646 | △579 |
| 自己株式の取得による支出 | △0 | △0 |
| 非支配株主への配当金の支払額 | △1,512 | △1,772 |
| 配当金の支払額 | △1,886 | △2,048 |
| その他 | 50 | △18 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △4,996 | △5,380 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △311 | △36 |
| 現金及び現金同等物の増減額（△は減少） | △5,226 | △1,451 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 26,251 | 22,184 |
| 現金及び現金同等物の中間期末残高 | 21,025 | 20,732 |

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（セグメント情報等の注記）

Ⅰ　前中間連結会計期間（自　2025年４月１日　至　2025年９月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

| | 報告セグメント | | | その他（注）１ | 合計 | 調整額（注）２ | 中間連結損益計算書計上額（注）３ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 自動車関連事業 | 建設機械関連事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 74,970 | 15,947 | 90,918 | 1,346 | 92,264 | － | 92,264 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 282 | 1,221 | 1,503 | － | 1,503 | △1,503 | － |
| 計 | 75,253 | 17,168 | 92,421 | 1,346 | 93,768 | △1,503 | 92,264 |
| セグメント利益 | 6,898 | 394 | 7,293 | 69 | 7,362 | △1,825 | 5,537 |

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、立体駐車装置事業等を含んでおります。

２．セグメント利益の調整額△1,825百万円には、セグメント間取引消去△22百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,802百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の本社管理部門等に係る費用であります。

３．セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当中間連結会計期間（自　2026年４月１日　至　2026年９月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

| | 報告セグメント | | | その他（注）１ | 合計 | 調整額（注）２ | 中間連結損益計算書計上額（注）３ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 自動車関連事業 | 建設機械関連事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 80,703 | 18,101 | 98,805 | 1,290 | 100,095 | － | 100,095 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 245 | 1,430 | 1,676 | － | 1,676 | △1,676 | － |
| 計 | 80,949 | 19,531 | 100,481 | 1,290 | 101,772 | △1,676 | 100,095 |
| セグメント利益 | 8,471 | 573 | 9,044 | 56 | 9,101 | △1,917 | 7,183 |

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、立体駐車装置事業等を含んでおります。

２．セグメント利益の調整額△1,917百万円には、セグメント間取引消去△7百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,910百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の本社管理部門等に係る費用であります。

３．セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）
該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）
該当事項はありません。

（追加情報の注記）
（「グローバル・ミニマム課税制度に係る法人税等の会計処理及び開示に関する取扱い」の適用）
当社グループは、「グローバル・ミニマム課税制度に係る法人税等の会計処理及び開示に関する取扱い」（実務対応報告第46号　2024年３月22日）第７項を適用しているため、当中間連結会計期間を含む対象会計年度に関するグローバル・ミニマム課税制度に係る法人税等を計上しておりません。